



ビューティー・ジャパン2022 東海大会ファイナリストに選出

沖知美さん



PROFILE

おき ともみ (大山)
2児の母。書道教室「芯書院」を運営。
読売書法会幹事、謙慎書道会理事、静岡県書道連盟理事。
本ページ背景の作品は自身の作品である「白居易詩」。



◀ 沖さんが女性のより良い生き方や考え方などを発信しているInstagramの2次元コード

外見や内面の美しさだけでなく、女性のキャリアを重視したコンテスト「ビューティー・ジャパン2022」の東海大会で、大山に住む沖知美さんが見事ファイナリストに選出され、2月23日に開催される日本大会予選への切符をつかんだ。

沖さんは、同コンテストへの出場のきっかけを「最近、2人の息子が小学生となりました。育児が落ち着いた今、自分が新しい分野でどこまでできるか挑戦してみたくなりました」と話す。

美しさの根源にあるもの

沖さんは現在、県内でも有数の書道家として幅広く活動している。読売書法会幹事、謙慎書道会理事、静岡県書道連盟理事といった書道界の要職に就きながら、大学在学中に開設した書道教室「芯書院」を自宅で運営。さらに、本年10月に開催された「ふじの国芸術祭2021 第61回静岡県芸術祭美術部門書道展」では、自身の作品が奨励賞に選ばれた。

明るく笑顔で人生を楽しむ

これまで十数年間にわたり多くの生徒に書の指導をしてきた沖さんは「母親が毎日笑顔で過ごすこと」の重要性を語る。沖さんによると、子どもは母親の表情の変化に敏感で、母親が楽しくて笑っていると自分も同じように楽しい気持ちになるが、暗い表情を見ると同様に表情を曇らせてしまうのだという。

「私たち母親はいつでも笑顔でいたほうがいいんです。そして、これは自分自身のためでもあります。いつも明るく毎日を生きることは、一度きりの人生をより豊かにすることにつながります」。

いくつになっても輝ける

現在、一人でも多くの女性ができるように、ソーシャル・ネットワーキング・サービス「Instagram」で自身の人生観を発信している沖さん。これからもさらなる高みへ向かって進み続けるだろう。